

# ELECTRIC GRAND CP-80/CP-70B

世界のプロフェッショナルの熱い注目を集める、エレクトリックグランド。  
グランドピアノアクションをそのまま採用した打弦式。タッチといい、サウンドといい、限りなくアコースティック。

音楽のジャンルを越え、世界のトップキーボーダーの称讃を欲しいとしたエレクトリックグランド。73鍵タイプのCP-70B、そして88鍵タイプのCP-80、まさにグランドピアノそのまの音質とキータッチ。エレビならではのサウンドイメージ、移動のし易さ、充分な音量。仕上りはコンパクトながらスタジオでもライブでも、トップキーボーダーの期待を裏切らない眼を惹く、パフォーマンス。あなた自身の指ささず、ぜひお確かめください。

●打弦式の音源とグランドピアノアクション  
CP-70B、CP-80の音源は弦をハンマーでたたき打弦式。グランドピアノと全く同じ仕組みのアクション機構を採用しているため、グランドピアノそのまのキータッチ、タッチレスポンス—キイをたたき強さによる自然な音の強弱—も、指さきを感じる微妙なキイの重さも、少しも損なわれていません。キイはピアノと人の接点。タッチのちがいは、まさに演奏を左右します。



●音源もグランドピアノそのま

エレクトリックグランドのボディ構造は、グランドピアノとはほぼ同じ。そしてグランドピアノと最も異なる点は、生ピアノをマイクで集音した場合に起こりかねた、ハウリングを未然に防止することです。さらに、原音の激振追求から誕生したヤマハ独自のピックアップが弦の1本1本に対応して、浴みきった最高音から、重厚にしてクリアな最低音に到るまで完璧なボリュームバランスを誇ります。しかしなんといっても、打弦式を採用したことによる最大のメリットは、アコースティックな音色。立ち上がりから、減衰し、消滅するまでの倍音構成・音量変化は、これがエレクトリックピアノかと思うほど、ダイナミックレンジの広さが魅力です。



●エレビだからエフェクトのかかりは抜群

エレクトリックグランドはボリュームコントロールをはじめベース、ミドル、トレブルのトーンコントロールを採用しています。たとえば、トレブルを低目にセット、ベースを上げればジャズピアノ風の鈍いサウンドをつくれますし、逆にベースを上げてトレブルを上げれば、クラシックで華麗なサウンドが誕生します。お好みのサウンドにセットしていただき、CP-80には使用アンプの音質を、曲想に合わせて高音レベルを瞬間に切り換えることができるプリアンプレベルSWを装備しています。また、トレモロの速さ、深さを自由にコントロールできるステレオ方式のトレモロユニットや、エフェクターを接続できるパッチング端子も装備。左右に微妙に揺れ動くドラマチックなトレモロ、ワウワウ、フェイズシフトサウンドなど新しいサウンドをつくり、演奏時の音場コンディションに合わせてエフェクトは思いのまま。エレクトリックピアノならではの数々のサウンド効果が得られます。

●ライブとレコーディングの使い分け  
アウトプットはCH1、CH2のステレオ。それぞれに、フーンジャックスキヤノコネクターが設けられています。PAにラインで送る場合などはキヤノコネクター側を利用できる、便利なシステムでもアンプ・スピーカーはエレクトリックグランドならではのタッチレスポンスを最大に生かすため、ダイナミックレンジの広い機種を選んで使えば効果的です。CP-80、CP-70B用として最適な、ヤマハのパワーアンプ内蔵のPAスピーカー（A4115H）などをお勧めします。



●キャリアブルタイプです

本体は鍵盤部分とフレーム部分で、上下にセパレート。つまり、アクション部を2分し付属品といっしょに、ふたつのケースに納めるという画期的な構造もっています。これで、演奏旅行に伴う移送の問題も、らくらく解決。あくまでプレイabilityを重視した設計です。

●定期的な調律をお勧めします

エレクトリックグランドはピアノ本来の音色とタッチを実現するため、アコースティック同様ピアノ弦をハンマーでたたきという音源方式をとっています。つねに最良のコンディションを保つため、定期的な調律をお勧めします。

●電源部

メインテナンスの点、また万が一のトラブルに備えて、電源部はボディの外に出されました。

